

科目名	看護教育学 Nursing Education		担当教員 (研究室番号)	上田 貴子 (304)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	3年次前期	科目区分	専門科目・実践基盤看護学		選択区分	必修	単位数(時間)	1(15)	授業形態	講義	科目等履修生 オープンクラス	可 否
科目目的	看護学教育の制度や歴史的変遷について理解するとともに、看護専門職者として自律して行動できるよう主体的に学ぶことの意義を理解し実践する。											
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)										
	関連するDP	D 様々な職種との連携において、看護専門職者としての役割を理解し、多職種による協働活動に参加できる。 (技能・表現)										
		G 看護学に対する研究的視点を持ち、主体的に学ぶ姿勢を有している。(関心・意欲)										
到達目標	1 看護教育学の特徴を説明できる。 2 教育制度と看護教育制度の違いを説明できる。 3 一般教育と看護教育の違いを説明できる。 4 看護教育カリキュラムの特徴について説明できる。 5 看護師養成教育の歴史的変遷について説明できる。 6 教育評価に関する用語の意味と用いられ方を理解し、自分の言葉で説明できる。 7 看護継続教育に関する自分の意見を他者に説明できる。 8 生涯学び続けることの意義について、看護専門職者の役割との関連から考察できる。											
成績評価方法(基準)		筆記試験 (60%)、学習シート (40%)										
再試験の有無と基準等		有：評価が60%に達しない場合は、課題レポートの提出を課す。レポートでは可否のみを判定する。										
教科書		使用しない										
参考書等		杉森みど里、舟島なをみ：看護教育学 第8版、医学書院、2024。 舟島なをみ：看護学教育における授業展開 第2版、医学書院、2020。 グレッグ美鈴、池西悦子：看護教育学 改定第3版、南江堂、2024。										
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待		看護教育学は、看護学の各領域に共通する普遍的要素のうち、教育に関連する内容に焦点をあてる学問である。教えることと学ぶことの両方について学んで欲しい。授業では毎回振り返りを行い学習内容の定着を促す(反復学習)。学び・気づき・疑問について、クラス全体で共有したいと考えている。学生の皆さんには、自己主導型学習 (Self-Directed Learning) の実践を期待する。										
備考												
回	学習項目			学習内容						主担当教員	授業方法	
1回	看護教育学とは何か			・本授業のオリエンテーション ・看護教育学の定義と理念 ・看護教育学を学ぶことの意義 ・看護学を学ぶこと、看護師になるということ						上田	講義 演習	
2回	看護師養成教育の現状と課題			・教育制度と看護教育制度 ・一般教育と看護教育 ・看護師養成教育の制度上の特徴						上田	講義 演習	
3回	看護教育カリキュラムの理解			・看護基礎教育課程のカリキュラム ・カリキュラムの類型とカリキュラムデザイン ・大学と専門学校のカリキュラムの相違 ・大学において看護学を学習する意義						上田	講義 演習	
4回	専門職としての看護職			・看護師養成教育の歴史的変遷 ・社会の変化と看護教育制度の変化 ・専門職の条件						上田	講義 演習	
5回	教育評価			・教育評価の基礎知識 ・自己評価と他者評価 ・評価の解釈						上田	講義 演習	
6回	看護継続教育			・看護継続教育とは ・看護継続教育の対象 ・看護職者のキャリア・ディベロップメント ・看護職者の学習ニード						上田	講義 演習	
7回	学術的に問題解決する方法			・看護教育学研究の目的と意義 ・看護教育学研究の成果と活用						上田	講義 演習	
8回	成人学習者と主体的学習			・成人学習者の特徴 ・生涯学び続けるということ ・主体的に学ぶことの意義						上田	講義 演習	

学 習 課 題	
授業で学習した内容(学習シート)を授業終了時に提出すること。詳細は授業初日に説明する。	

実務経験を活かした教育の取組	
・担当教員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。	